

日本測量者連盟会員の皆様

日頃より、日本測量者連盟の活動に、ご理解、ご支援いただきましてありがとうございます。  
FIG よりメッセージが届きましたので会員の皆様に展開いたします。

日本測量者連盟

---

FIG ニュースレター2025 年第 2 四半期号 FIG からのお知らせ

ご注意: 原文（英文）をご覧になりたい方は、[ブラウザでニュースレターにアクセス](#)してください。

国際測量者連盟 FIG

---

FIG 第 2 四半期ニュースレターへようこそ。ここ数ヶ月は、オーストラリアのブリスベンで開催された FIG 作業週間 2025 で大忙しでした。このニュースレターで会議と総会に関する報告をお読みください。会議は、参加者からの高い評価、ブリスベンの素晴らしい雰囲気、そして良好な財務結果により、大成功を収めました。オーストラリア国内協会である GCA（オーストラリア地理空間協議会）が残念ながら、2025 年 5 月に、予期せぬ任意破産手続きに入ったため、このニュースレターには FIG からの声明も掲載しています。会議の良好な財務結果でさえ、数年にわたる GCA の状況を改善することはできなかったのです。現在、FIG も FIG 財団も、会議参加費をまだ受け取っていません。この参加費が GCA の赤字に吸い取られてしまうのではないかと懸念しています。

これからの話として、南アフリカのケープタウンで開催される大規模な FIG 大会 2026 の要旨提出受付を開始しました。新会長および副会長の選挙が行われるこの特別な大会に参加し、FIG を支援していただくことが、これまで以上に重要になっています。南アフリカの現地主催者は、皆様が参加の準備をするのに十分な時間を確保できるよう、すでに準備を順調に進めています。

FIG 会長が世界銀行会議に出席したこと、その他の今後のイベント、賞、FIG 財団の助成金、委員会の最新情報などをご覧いただけます。このニュースレターはこの四半期分を網羅していますが、今後は毎月発行に戻ります。最後に、FIG 事務局の新しい同僚、ヘニーをご紹介します。

---

### FIG 総会 2025 報告書

2025 年 4 月 6 日と 10 日に、FIG 総会 2025 が FIG 作業週間 2025 の一環として開催され、分科会次期委員長選挙、定款の変更、および FIG 作業週間 2029 の開催地と主催者の選挙が行われました。

[詳細はこちら](#)

---

### FIG 作業週間 2025 報告書：ブリスベンとオーストラリアの G'day へようこそ

1400 人の国内外の参加者が、美しい都市ブリスベンに集まり、さまざまな活動、技術プログラム、ツアー、ネットワーキングの機会が満載の FIG 作業週間 2025 が開催されました。

- [報告書を読む](#)
  - [集録・技術プログラム](#)
  - 会議ウェブサイト：[www.fig.net/fig2025](http://www.fig.net/fig2025)
  - [FIG 声明 2025 年 6 月](#)：GCA と FIG 作業週間について
- 

### FIG 大会 2026 - 論文募集

2026 年に南アフリカのケープタウンで開催される、測量・地理空間分野の専門家による最大かつ最も権威のある会議にご招待いたします。FIG 大会は 4 年ごとに開催されるメインイベントであり、FIG 新会長および 2 人の新副会長の選挙も行われます。

大会の全体テーマは「私たちが望む未来 - SDGs とその先に」です。

FIG 大会 2026 は、地理空間専門技術者たちが行動を加速し、イノベーションを促進し、地球規模の持続可能な開発の次の時代を形作るための重要な機会となります。この大会では、オピニオンリーダー、政策立案者、専門家が一堂に会し、土地の統治、地理空間情報、技術の進歩が、2030 年以降も持続可能性、強靱性、公平な成長を推進する方法について探求します。

[詳細をご覧ください、論文要旨をご投稿ください。](#)

[論文募集](#) | [論文募集 \(PDF\)](#)

[2026 年 Survey Review 隔年賞](#) - 優れた査読論文を執筆した若手測量士に授与されます。

詳細については、大会ウェブサイトをご覧ください：[www.fig.net/fig2026/](http://www.fig.net/fig2026/)。

---

### FIG からのニュース

#### FIG オフィスにヘンニ Henni が加わりました

ヘンニ・A・カンストルプは 2025 年 6 月 1 日に FIG での勤務を開始しました。ヘンニは「コミュニケーション、プロジェクト、イベントコーディネーター」の役職を務め、FIG オフィスでの業務において、優れたコミュニケーション能力、イベントやその他のプロジェクトの企画・運営経験を生かしていきます。

ヘンニは、ゼーランドビジネスカレッジの国際部門で国際プロジェクトコーディネーターとして過去 5 年間勤務し、最近まで国際活動を大幅に縮小するまでその職責を果たしてきました。彼女はコペンハーゲン大学で音楽学と英語の人文士号を取得し、現在デンマーク工科大学でプロジェクト管理のテクノロジーディプロマを修了しつつあります。以前は客室乗務員、デンマーク王立図書館のプロジェクトコーディネーター、コース管理者として勤務していました。

彼女は天文学と宇宙に特別な興味を持っており、測量士や地理空間専門家との協働を楽しみにしています。庭に天体写真用の望遠鏡を所有しています！余暇には、デンマーク技術士会傘下のボランティア団体「IDA Space」の理事を務め、同業者向けのイベントや講演を企画しています。

#### パートナーシップの力：世界銀行 2025 土地会議

FIG 会長とコミュニティは、この会議において、連携、協力、能力強化を通じて、地球規模での土地統治の推進に参加しました。 [続きはこちら](#)

#### マドリッドで開催された Geospatial World Forum に FIG が参加

ウィニー・シュール FIG 副会長は、専門技術者団体間の協働による未来の地理空間エコシステムの加速をテーマにした全体会議で、FIG を代表して GWF に参加しました。 [続きはこちら](#)

---

#### FIG 財団ニュース

FIG 財団は、FIG ヤング・サーベイヤーズ第 4 回アフリカ地域会議を支援するため、ヤング・サーベイヤーズ助成金を後援し、授与します。

合計 4 件の助成金が授与されます。申請の締切は 2025 年 7 月 31 日です。 [続きはこちら](#)

FIG 財団の助成金受賞者を祝福します。

4 名の受賞者が FIG ヤング・サーベイヤーズ第 2 回アメリカ地域会議に参加します。 [続きはこちら](#)

FIG 財団はモロッコ・ラバトで開催された IGSM 2025 に参加しました。

ヤング・サーベイヤーズのアンヘル・コラドが IGSM 2025 に参加し、若手専門技術者との財団の取り組みについてプレゼンを行いました。 [続きはこちら](#)

---

#### 新規出版物とニュースレター

[第 8 分科会ニュースレター](#) 2025 年 5 月号

[第 7 分科会ニュースブリーフ](#) 2025 年第 2 四半期号

第 3 分科会 ナイジェリア：[NIS-FIG 第 3 分科会のナイジェリアにおける活動](#)

---

## FIG 年次報告書 2024

この年次報告書では、2024 年に実施した FIG の活動の一部について、概要をご紹介します。[詳しくはこちら](#)

## 出版物 83：行動への呼びかけ：気候変動に対応した土地統治と災害への強靱性。土地の権利の保護

本書は、ネパールで開催された FIG 地域会議 2024 の成果です。「行動への呼びかけ」の全文と、セッションとディスカッションの結果をお読みください。[続きはこちら](#)

## 出版物 84：土地管理ドメイン・モデル：その概要と教室における LADM

FIG 出版物 No.84 の概説版は LADM の手引書であり、LADM の概要を説明しています。この出版物は、なぜ LADM が必要なのか、どのように設計されているのか、LADM とは何なのか、そしてどのような利点があるのか、といった LADM について詳しく知りたいすべての人を対象としています。この概説書には、研修や 高等教育に焦点を当てた「教室における LADM」と題された増補版があります。

[続きはこちら](#)

[出版物を PDF で読む](#)

増補版では、土地管理ドメイン・モデル (LADM) を実例を通して紹介しています。まず、LADM の中核となる概念の概要を説明し、次に、LADM を使用して、さまざまな人と土地の関係に関するデータをどのように整理できるかを解説しています。各事例は、土地管理システムで遭遇するシナリオを表しています。各事例で使用されているシナリオは、ワッタリバーという仮想の町とその周辺の農村地域の土地管理システムから導き出されています。特定のシナリオを表すそれぞれのケースは、概念的に、またデータが具体的に保存されているデータベースの簡略化された表現を使って提示されています。デモ用データセット、付随する GIS プロジェクト、再利用可能なスライドはオンラインで入手可能です。詳しくは本書をご覧ください。

[続きを読む](#)

[PDF で読む](#) (20 MB)

---

## 分科会会合

第 7 分科会 年次総会および FIG 合同土地管理会議

2025 年 11 月 3 日～5 日、ブラジルのフロリアノポリスで開催

[論文要旨の投稿および詳細情報](#)

[英語版チラシ](#)

FIG 第 8 分科会 年次総会「土地と空間統治における責任ある知識移転とイノベーション」は、第 6 回ルーマニア測量週間中に開催されます。第 2 分科会は教育に関するラウンドテーブルを主催します。

---

## 賞と表彰

以下に掲げる賞と表彰を確認してください。

FIG ヤング・サーベイヤーズ第4回アフリカ地域会議、サラ・セイシー賞 2025、EAASI 優秀論文賞およびアベル賞。

---

## 今月の記事

**2025 年 6 月：**ブリスベンで開催された FIG 作業週間 2025 で、ポール・デニス、ユクシ・ジン、ジェット・ガナウェイ、ハミッシュ・ギブソン（ニュージーランド）が発表した査読論文「[GNSS RTK 測位誤差の測定](#)」

この論文は、過酷な環境における信号の可用性低下（衛星配置）が RTK 座標精度に与える影響を調査しています。[記事を読む](#)

**2025 年 5 月：**FIG 第 10 分科会によるナジラ・ヒジャ・ザイノルディン准教授とクー・スイ・ライ博士のポジションペーパー「[数量調査のデジタル・トランスフォーメーション：スマートシティと専門技術者の進化への道筋](#)」

この論文は、デジタル建設時代における数量調査士 Quantity Surveyor の役割を説明しています。[記事を読む](#)

**2025 年 4 月：**FIG 作業週間 2025 におけるハムイド・ホセイニ、ベナム・アタザデフ、アッバス・ラジャビファード（オーストラリア）による査読論文「[地籍図からの土地と不動産データの抽出のための人工知能](#)」

この論文は、地籍図から土地と不動産情報を効率的に抽出するための AI ベースのアプローチに関する研究です。これには、コンピュータビジョンを用いた図面からのデータ抽出と、自然言語処理（NLP）を用いた図面とのコミュニケーションを含みます。図面からのデータクエリ用に、生成型事前学習トランスフォーマー（GPT）をコアの大規模言語モデル（LLM）として採用したプロトタイプ・チャットボットが開発されました。[記事を読む](#)

---

## 近日開催の特別イベント

**2025 年 7 月 14 日～25 日：**イタリアのバリ、マテラ、ラティーナ、およびルーマニアのティミショアラ

第 16 回国際トレーニングサマースクール ゴリツィア（2025 年欧州文化首都、ヴェネツィアとトリエステ）は 2025 年 7 月 22 日（月）に開催されます。参加費は€600.00（600 ユーロ）です。詳細なスケジュールはウェブサイトに掲載されています。詳細については [Piero Grimaldi](#) までお問い合わせください。

[チラシ](#)

[ウェブサイト](#)

（訳注：終了しました）

**2025 年 10 月 7-9 日、ドイツ、フランクフルト**

ドイツ DVW 主催の Intergeo 2025。

ウェブサイト：<https://www.intergeo.de/en/welcome-to-intergeo>

**2025 年 10 月 15-17 日、チェコ共和国、ブルノ**

第 9 回応用測量国際会議（INGEO 2025）、後援：FIG 第 6 分科会（応用測量）ウェブサイト：<https://www.ingeoconference.com/>

**2025 年 10 月 17～18 日、米国ミネソタ州ミネアポリス**

FIG ヤング・サーベイヤーズ第 2 回南北アメリカ地域会議 2025。  
ダイナミックな業界のために、明日の測量者の能力を高める。

**2025 年 10 月 21 日～25 日：ティミショアラ、ルーマニア**

第 6 回ルーマニア測量週間（RSW）のテーマは「農業と建設環境の持続可能な開発のための地理空間技術」をテーマに、ルーマニア測量士連合が主催し、ティミショアラ工科大学土木工学部（FCPUT）とティミショアラ生命科学大学「ミハイ 1 世国王」農業学部（ULST）と共同で開催され、FIG 第 2 及び第 8 分科会との協力のもと開催されます。

RSW 期間中、FIG 第 8 分科会年次総会「土地および空間統治における責任ある知識の伝達とイノベーション」が開催されます。

FIG 第 2 分科会は、教育に関するテーマの円卓会議を主催します。

イベントのウェブサイトは近日公開予定です。

**2025 年 11 月 3 日～5 日：ブラジル、フロリアノポリス**

FIG 第 7 分科会年次総会および FIG 合同土地管理会議

ONU-Habitat Brasil Social Tenure Domain Model (STDM) 並びに第 13 回国際 FIG ワークショップ「LADM および 3D-LA」及び第 8 分科会年次総会と併せて開催されます。  
いずれも、サンタカタリーナ連邦大学（UFSC）が主催します。

[論文要旨の投稿および詳細情報](#)

[英語版チラシ](#)

その他のイベント：[イベントページ](#)をチェック

**日程をお忘れなく**

FIG 大会 2026、南アフリカ、ケープタウン：2026 年 5 月 24 日～29 日 - [www.fig.net/fig2026](http://www.fig.net/fig2026)

FIG 作業週間 2027、ノルウェー、スタヴァンゲル：2027 年 5 月 23 日～27 日 - [www.fig.net/fig2027](http://www.fig.net/fig2027)

FIG 作業週間 2028、フランス、パリ - FIG 150 周年を祝う：2028 年 6 月 24 日～28 日

---

以上、よろしくお願いします。

国際測量者連盟 局長

ルイーゼ・フリス＝ハンセン